



2022年8月10日

各位

会社名 株式会社ハイパー
代表者名 取締役社長 望月 真貴子
(コード番号：3054 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 江守 裕樹
(電話：03-6855-8180)

業績予想に関するお知らせ

当社は2022年5月16日に公表いたしました「2021年12月期 決算短信[日本基準] (連結)」におきまして、2022年12月期の業績予想を未定としておりましたが、その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2022年12月期 連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	円 銭 —
今回修正予想(B)	10,990	5	7	△390	円 銭 △40.20
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
ご参考：前期実績 (2021年12月期)	20,536	48	36	△53	円 銭 △5.72

(2) 業績予想の定性的な情報について

現在の営業環境は、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があるものの、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されています。

当社グループの経営陣は、これまで事業に従事してきた経験や、現在入手可能な情報に基づき、最善の経営判断を行っており、引き続き積極的な営業活動を展開すると共に、業務の効率化を推し進めてまいります。

なお、売上高が前期実績に比べ大幅に減少する要因といたしましては、「収益認識に関する会計基準」適用による減少で、これは主にアスクルエージェント事業において影響が大きく、昨年実績(9,232百万円)の概ね90%減と見込まれるためです。

今後、営業環境を含め当社グループ事業への影響については慎重に見極めを行い、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 配当予想について

当社の2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の配当予想につきましては、2022年6月27日に公表いたしました配当予想から変更はありません。

以上